

資料1

平成28年度

ニホンジカ管理事業実績報告書(県分)

平成29年8月

宮城県環境生活部自然保護課

平成28年度ニホンジカ管理事業実績(県分)

宮城県

H28計画	H28実績	評 価
<p>1. 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <p>イ 捕獲目標(県全体):2,430頭 ※ニホンジカ管理計画における年間捕獲目標:1,920頭以上</p> <p>・県事業(指定管理鳥獣捕獲等事業):150頭</p> <p>・市町村等事業(有害鳥獣捕獲):1,580頭</p> <p>・狩猟による捕獲:700頭</p> <p>ロ 狩猟期間を延長(2月15日までを3月15日までに)する。</p> <p>ハ 狩猟頭数制限の緩和 残さ処理を適正に実施できる場合に限り、狩猟者1人当たりの1日の狩猟頭数をオスは1日1頭まで(わな猟は無制限)、メスは猟法にかかわらず無制限とする。</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>イ 市町村における被害防止体制整備への支援、指導並びに捕獲技術実証事業、研修会の実施</p> <p>ロ 被害防除技術研修会の実施</p> <p>ハ 植栽木等への食害防除対策等について情報提供を行う。</p>	<p>1. 被害防止対策</p> <p>(1) 個体数調整</p> <p>イ ・捕獲実績:2,263頭</p> <p>・捕獲実績:150頭 (うち石巻市72頭・女川町8頭・気仙沼市50頭・南三陸町5頭・登米市15頭)</p> <p>・捕獲実績:1,514頭</p> <p>・捕獲実績:599頭</p> <p>ロ 狩猟期間を延長(2月15日までを3月15日までに)した。</p> <p>ハ 狩猟頭数制限の緩和 残さ処理を適正に実施できる場合に限り、狩猟者1人当たりの1日の狩猟頭数をオスは1日1頭まで(わな猟は無制限)、メスは猟法にかかわらず無制限とした。</p> <p>(2)被害防除対策</p> <p>イ 交付金の活用や被害防止計画の作成等について支援、指導した。 鳥獣被害防止総合対策交付金により、気仙沼市及び登米市における有害捕獲活動、わなの購入及び電気柵の設置等を補助した。 石巻市でニホンジカのくくりわなによる捕獲技術実証に取り組んだほか、研修会を開催しくくりわなによる捕獲技術の普及を図った。</p> <p>ロ 被害防除技術研修会の実施 H28.8.26 大崎合同庁舎にて座学 生態及び被害防止対策について研修会開催 H28.11.8 石巻市河北総合センターにて座学及び現地実習 生態及びくくりわなによる捕獲について研修会開催</p> <p>ハ 県内各地に配置されている林業普及指導員等が、普及活動を通じて、被害防止技術の情報提供を行った。</p>	<p>【自然保護課】 延長期間内に200頭捕獲(狩猟全体の33.4%)</p> <p>捕獲実績599頭のうち、メス344頭捕獲(狩猟全体の57.4%)</p> <p>【農産園芸環境課】 引き続き、被害防止体制整備への支援、交付金による補助及び研修会等による対策の推進を図る。</p> <p>【自然保護課・農産園芸環境課】 継続して実施する。</p> <p>【林業振興課】 生産者のニーズに応じて、被害防除技術情報を適切に提供</p>

H28計画	H28実績	評 価
<p>ニ 有害鳥獣対策への地域的な取組支援</p> <p>普及指導員が各市町の被害防止対策協議会や農業者等との連携を図り地域の実情に応じた被害防止活動の支援を行う。</p> <p>(3)生息地の適正管理</p> <p>イ 緩衝帯設置の推進 水稻の被害削減のため水田周辺の除草作業や山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進する。</p> <p>ロ シカによる森林被害が確認される地域においては、植栽木を食害から守る手段として、防鹿柵の設置や忌避剤の塗布に関する補助事業等の活用を進めるとともに、森林の裸地化を防止するため、食害防止対策を実施しない場合は極力皆伐を避けるよう森林所有者への周知を図る。</p> <p>ハ 道路区域のうち、路肩部分(原則1m幅)について、6月から8月中旬までの期間内に除草を実施する。 なお、除草は車両運転者の視距等に影響がある場合を除き、原則として年1回実施するものとする。</p> <p>(4)その他</p> <p>イ 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 シカ対象5市町)</p> <p>ロ 鳥獣被害アドバイザー職員を養成し、地域での対策検討・実施支援を行う。</p>	<p>ニ 有害鳥獣対策への地域的な取組支援</p> <p>・各普及センターに鳥獣害担当職員を配置。 ・研修会の開催(11/15, 13名参加) 電気柵の設置実習など鳥獣害対策についての知識の習得と意識の醸成を図った。 ・国段階の普及指導員研修の鳥獣被害防止対策支援研修を1名受講。職場研修等で情報の共有化等を図った。 ・集落ぐるみの鳥獣被害対策モデル事業実施地区を中心に対策の推進等を行った。</p> <p>(3)生息地の適正管理</p> <p>イ 緩衝帯設置の推進 研修会により、取組を推進した。</p> <p>ロ 国庫補助事業やみやぎ環境税活用事業で防鹿柵の設置を補助したほか、県有林での植栽事業や保育事業において、忌避剤を塗布し被害予防を行った。</p> <p>ハ 道路区域のうち、路肩部分(原則1m幅)について、6月から8月中旬までの期間内に除草を実施した。</p> <p>(4)その他</p> <p>イ ニホンジカを対象鳥獣とする色麻町の被害防止計画について、計画の変更を支援した。</p> <p>ロ 普及指導員2名を国の研修に派遣した。</p>	<p>【農業振興課】</p> <p>・継続して各普及センターに、鳥獣被害対策担当を配置。 ・研修等を実施し、鳥獣被害対策についての知識の習得を行う。</p> <p>【農産園芸環境課】 引き続き、地域における取組を推進する。</p> <p>【森林整備課】 防鹿柵の設置や忌避剤の塗布は苗木の食害を防止する効果があるため、今後も継続して実施していく。</p> <p>【道路課】 継続して実施する。</p> <p>【農産園芸環境課】 引き続き、計画の作成及び変更を支援する。</p> <p>【農産園芸環境課】 引き続き、農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。</p>

H28計画	H28実績	評 価
<p>ハ 生態及び被害防止対策に関する資料を作成し、ホームページ等を通じて普及啓発を図る。</p> <p>ニ 車両等との事故により衝突死した個体については、各市町村に回収を依頼する。</p>	<p>ハ 県ホームページに被害状況等関係資料を掲載し、普及啓発を図った。</p> <p>ニ 車両等との事故により衝突死した個体処理依頼は無かった。</p>	<p>【農産園芸環境課】引き続き、普及啓発を図る。</p> <p>【道路課】継続して実施する。</p>
<p>2. その他</p> <p>(1)調査研究</p> <p>イ 生息状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理鳥獣捕獲等事業を活用した生息数等調査を実施する。 <p>ロ 捕獲状況調査</p> <p>狩猟及び有害鳥獣捕獲に係る「捕獲調書」により生息分布及び生息密度を把握する。</p> <p>ハ 糞塊法による生息密度と森林被害発生状況を調査する。</p> <p>ニ 好適生息環境となっている植栽放棄地の適正な管理方法について調査する。</p> <p>(2)その他</p> <p>イ 放射性物質検査</p> <p>シカ肉について、放射性物質のモニタリング調査を行い、情報提供していく。</p> <p>ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンジカ部会</p> <p>県及び該当市町の事業実施計画等について専門家による検証を行うとともに、部会に各市町の担当者をオブザーバーとして招き、各市町の抱える問題等への助言機会の確保を図る。</p> <p>ハ 圏域単位での広域連携会議及び被害獣種別の連携会議において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会の開催、広域連携での対策を実施し、被害を防止する。</p>	<p>2. その他</p> <p>(1)調査研究</p> <p>イ 生息状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区画法調査、糞塊法調査、階層ベイズ法による生息数推定を行った。 推定生息頭数8,350(4,031～23,990)頭(平成27年度末) <p>ロ 捕獲状況調査</p> <p>狩猟及び有害鳥獣捕獲に係る「捕獲調書」により生息分布を把握した。</p> <p>ハ 糞塊密度により、地域毎の生息状況の増減を把握した。</p> <p>ニ 植栽放棄地の現況調査を実施した。</p> <p>イ 放射性物質検査</p> <p>県内各地から検体を集め、株式会社理研分析センターで測定した。</p> <p>ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンジカ部会</p> <p>部会、検討評価委員会をそれぞれ2回開催し、県及び該当市町の事業実施計画等について検証を行うとともに、第二種特定鳥獣管理計画の策定を行った。</p> <p>ハ 地方振興事務所で連携会議及び研修会等を開催した。</p>	<p>【自然保護課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画策定に必要な生息状況や被害状況の調査を実施する。 <p>継続実施する。</p> <p>【林業技術総合センター】引き続き調査を実施し、モニタリングを行う。</p> <p>【林業技術総合センター】引き続き、調査を実施し、森林の更新を推進する。</p> <p>【自然保護課】今後も継続し、情報提供していく。</p> <p>【自然保護課】特定計画の実施状況を検討・評価するため、今後も継続していく。</p> <p>【農産園芸環境課】引き続き、連携会議等により広域的な被害対策を推進する。</p>

別添1

基本評価シート
様式

(宮城県環境生活部自然保護課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	宮城県ニホンジカ・イノシシ生息状況等調査業務		
	宮城県指定管理鳥獣捕獲等事業（ニホンジカ）捕獲業務		
都道府県名	宮城県	担当者部・係名	自然保護課 野生生物保護班
担当者名	千葉	担当者連絡先	022-211-2673
捕獲実施事業者	一般社団法人宮城県猟友会 （認定を受けている）	予算額（※2）	17,600,000円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	6,955,200円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○平成28年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 （目標頭数などの数値目標）	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
150頭	150頭	100%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
7,906頭（平成27年度末）	捕獲数1,920頭以上／年	なし
狩猟捕獲数	許可捕獲（有害）	許可捕獲（個体数調整）
599頭	1,490頭	0頭

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

平成23年度から牡鹿半島地域を対象として県による個体数調整を実施し、平成25年度から平成26年度までは気仙沼地域を対象に加えて実施。

2. 平成 28 年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>記述欄： ニホンジカによる生活環境，農林業又は生態系に対する被害の動向，本県内におけるニホンジカの捕獲数及び生息数の動向，生息数と被害の関連性等の観点から，第二種特定鳥獣管理計画の目標を達成するため必要に応じて，既存の個体群管理のための事業に加え，指定管理鳥獣捕獲等事業を実施する。</p> <p>※特定計画の中での指定管理鳥獣捕獲等事業の位置づけも記載する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。 <input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。 <input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。 ※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<p><input type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。</p>
実施期間	<p>平成 29 年 1 月 1 日から平成 29 年 3 月 15 日まで (うち捕獲実施期間，平成 29 年 1 月 3 日から平成 29 年 3 月 5 日まで)</p>
実施区域	<p>牡鹿半島及び周辺部区域： ニホンジカによる農林業被害が増加しているが，十分な捕獲等が行われていない。 気仙沼地域： 岩手県境（五葉山地域）から南下し，生息数が増加しているが，十分な捕獲等が行われていない。</p> <p>※1：実施区域の特徴も記入 ※2：事業計画の地図がある場合は，図面を添付</p>
関係機関との協力	<p>事業区域の市町村及び所轄の警察署に対し，業務の協力依頼を行った。</p>
事業の捕獲目標	<p>(100%達成) = (150 実績値) / (150 目標値)</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟 <input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>※1：各種猟法の定義は9ページ参照、※2：複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input type="checkbox"/> 個体の身体の一部（耳、尾など） <input checked="" type="checkbox"/> 写真（詳細を記載：) <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>※複数チェック可。</p>
捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。</p> <p>※複数チェック可</p>
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。</p> <p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 (内容： くくりわなの輪の直径を12センチメートル以内とし，かつワイヤーの直径が4ミリメートル以上，締め付け防止金具及びよりもどしを設置) <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。</p>

	<p>鳥類の鉛中毒等について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。</p> <p>鉛製銃弾について</p> <p><input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。</p> <p><input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。</p>
安全管理の体制	安全管理規程を有しており、安全管理の体制は申し分ない。
捕獲従事者の体制	<p>【雇用体制】</p> <p>捕獲従事者数： 人</p> <p>（内訳）</p> <p>正規雇用者： 人、期間雇用者： 人 日当制： 人</p>

3. 平成28年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点*	
【目標達成】	評価： 捕獲目標頭数に達することができた。
	改善点： 適切な目標頭数の設定を目指したい。
【実施期間】	評価： 捕獲目標頭数に達するための十分な実施期間を設定することができた。
	改善点： より効果的・効率的な捕獲実施期間の設定を目指したい。
【実施区域】	評価： 実施区域間で捕獲効率に差があった。
	改善点： ニホンジカの管理のために効果的な実施区域の設定を目指す必要がある。
【捕獲手法】	評価： 効率的な捕獲が進められた場所があった一方、捕獲手法によっては捕獲効率が低い場所もあった。
	改善点： 捕獲者の技量や捕獲場所のシカの生息状況を踏まえた効率的な捕獲手法の検討が必要である。
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価： 十分な捕獲従事者を配置することができた。
	改善点： 引き続き適切な実施体制が整えられるよう指導する。
【個体処分】	評価： 適切に埋設等実施された。
	改善点： 引き続き適切な個体処分に努めるよう指導する。
【環境配慮】	評価： 特に外部からの問い合わせは無かった。
	改善点： 引き続き環境配慮に努めた事業実施を指導する。
【安全管理】	評価： 事故無く捕獲事業が実施できた。
	改善点： 引き続き無事故が続くように、事業者へ安全への配慮に努めるよう指導する。
3. その他の事項に関する評価及び改善点 特になし	
4. 全体評価 事故無く事業を遂行し、捕獲目標頭数に達することができた。引き続き安全管理・環境配慮に努め、ニホンジカの管理のためのより効果的・効率的な捕獲場所・捕獲手法の設定を目指したい。	

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

本事業の実施により、第二種特定鳥獣管理計画の捕獲頭数の目標に上積みすることができた。実施場所はニホンジカの侵出抑制地域が含まれており、生息域拡大防止に一部寄与したと考えられる。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ()	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数* <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

*のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）*についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない

概況図を作成する 上での課題	
-------------------	--

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果 (必須となる記録項目)

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※1: 429 人日

事前調査人日数概数※2: 不明 人日

出猟 (捕獲作業) 人日数: 429 人日

項 目	平成28年 (事業年度の値)	平成27年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量 (銃猟) のべ人日数 (1日に複数のメッシュに出役 した場合はそれぞれ1日 とする)	460人日	303人日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟 (捕獲作業) 日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※1: 544 人日

事前調査人日数概数※2: 不明 人日

出猟 (捕獲作業) 人日数: 544 人日

項 目	平成28年 (事業年度の値)	平成27年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量 (わな猟) わなの稼働総数 (わな基×日数)	3,799基日	6,530基日	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟 (捕獲作業) 人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	平成28年 (事業年度の値)	平成27年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	93頭	75頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②目撃数	710頭	641頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	39.8% (37頭/93頭)	25.3% (19頭/75頭)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	6.5% (6頭/93頭)	不明	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

平成28年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(銃器)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 ^{※1}	CPUE ^{※2}	SPUE ^{※3}
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 巻き狩り	93頭	460人日	0.2頭/人日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	1.5頭/人日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1: 作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2: CPUE=捕獲数/のべ人日数

※3: SPUE=目撃数/のべ人日数

※CPUE、SPUEは前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	平成28年 (事業年度の値)	平成27年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	57頭	56頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	59.6% (34頭/57頭)	44.6% (26頭/56頭)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	12.3% (7頭/57頭)	不明	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

平成28年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(わな)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※1	CPUE※2
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	57頭	3,799基日	0.015頭/基日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUEは前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数: 不明 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数: 0 個体

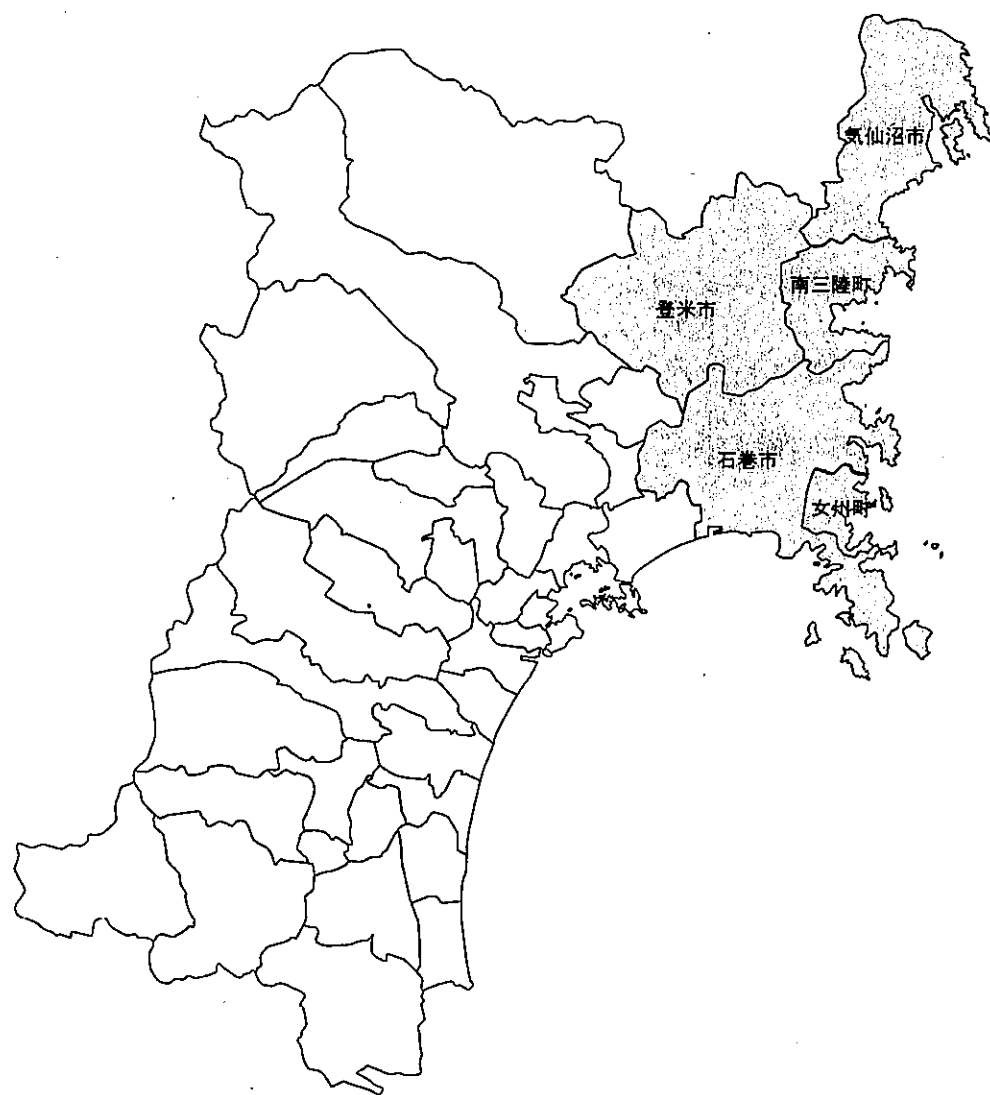
適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

通しナンバーを捕獲個体の左側胴体にペンキ等で記入するか、又はホワイトボード・黒板等に記入し、捕獲個体とともに写真を撮ったもの。

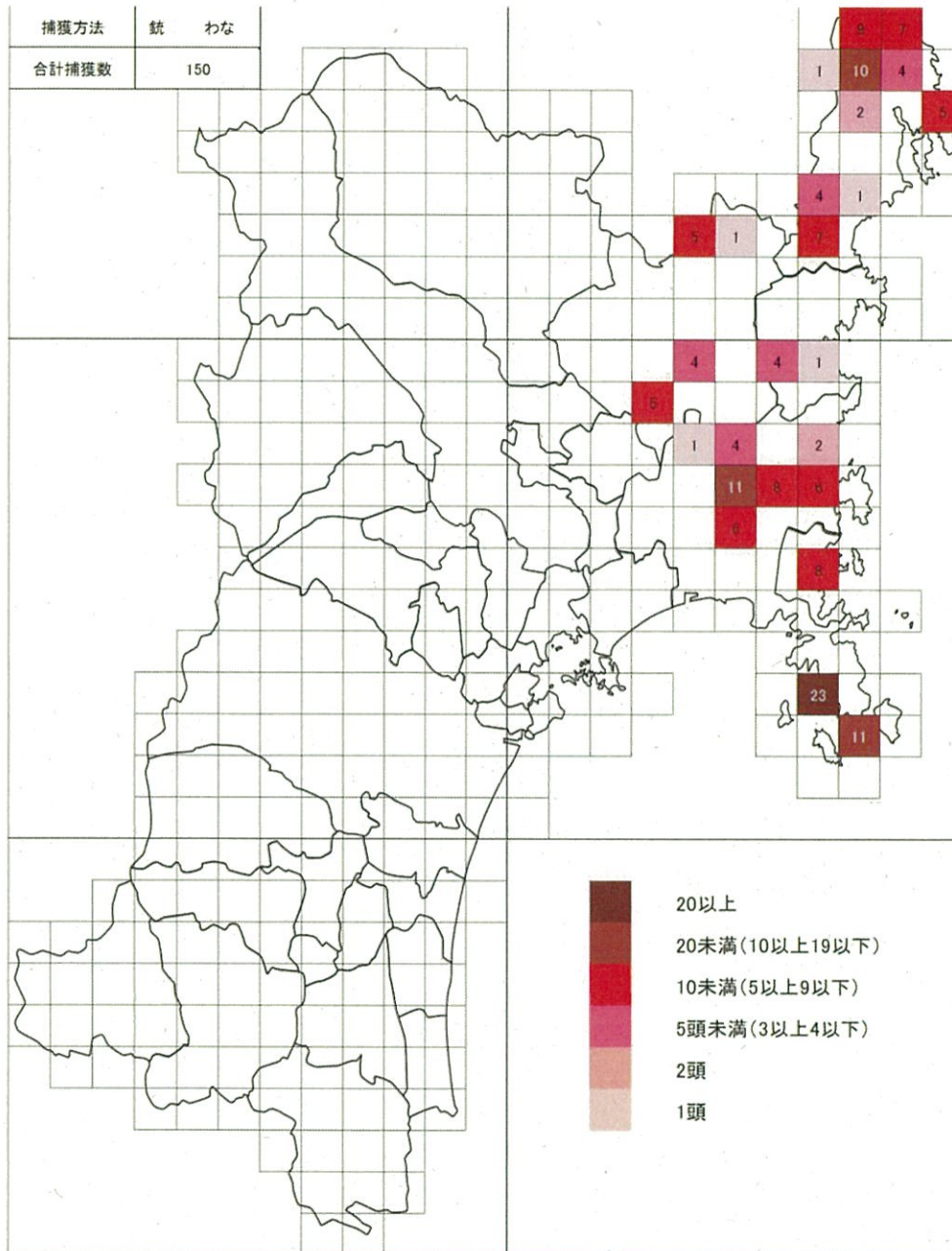
捕獲手法は、地域により様々なものが想定されることから、下記の定義は本評価シートでの暫定的なものです。

誘引狙撃	餌等により、対象種を誘引し、所定の位置から銃器により捕獲等する猟法。
巻き狩り	犬や勢子により追い出した対象種を、所定の位置で待機する射手が銃器で捕獲等する猟法。
忍び猟	単独の射手が徒歩で対象種を追跡して、射撃可能な地点で銃器により捕獲等する猟法。
車両を用いたモバイルカリング	所定の巡回ルートを車両で移動し、射撃可能な位置の対象種を銃器により捕獲等する猟法。
夜間銃猟	法律上必要な手続を全て完了した上で、日出前若しくは日没後において銃器を使用した鳥獣の捕獲等。

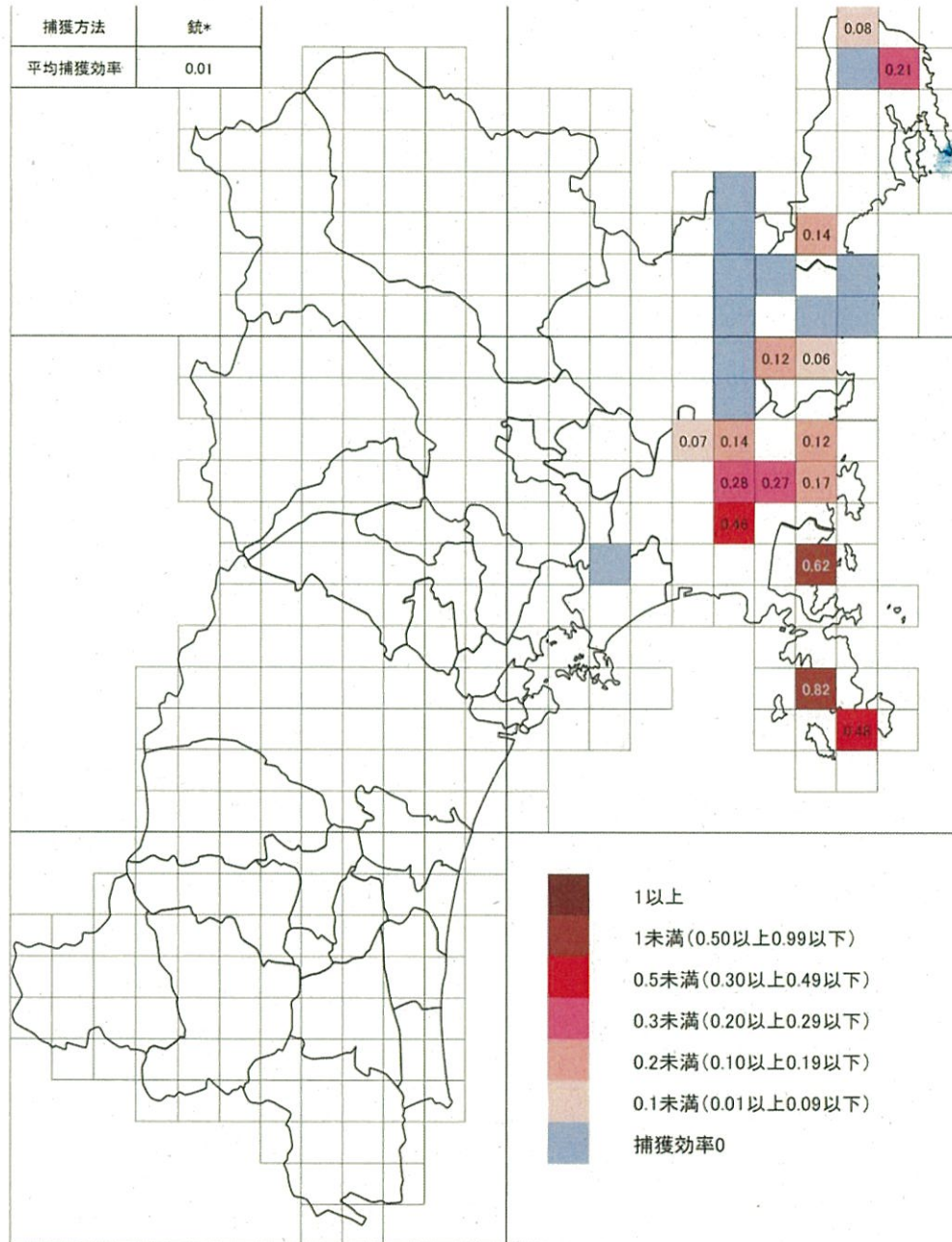
实施区域位置图



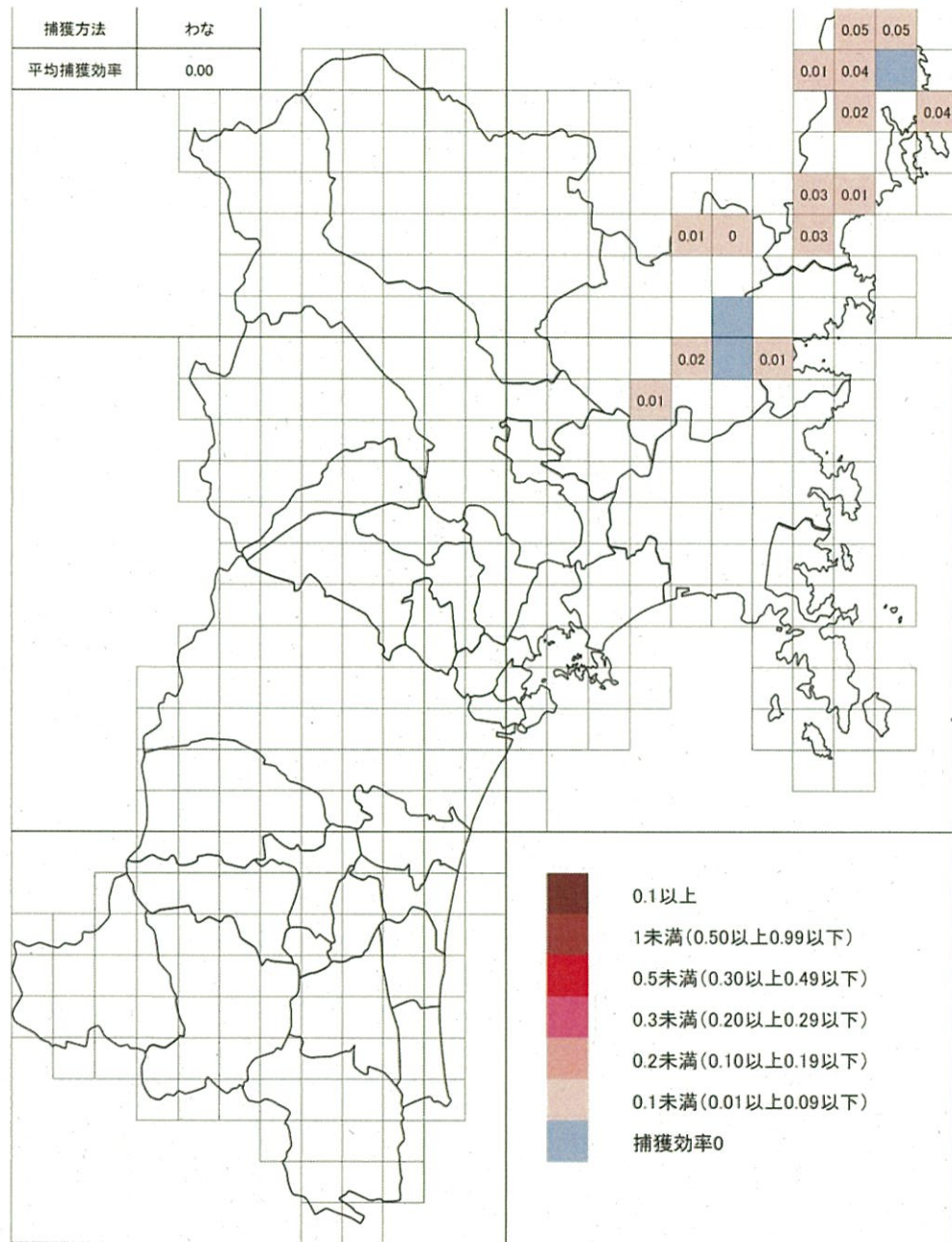
平成28年度指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲（ニホンジカ）捕獲位置図



平成28年度指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲（ニホンジカ）CPUE（銃）位置図



平成28年度指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲（ニホンジカ）CPUE（わな）位置図



平成28年度指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲（ニホンジカ）SPUE 位置図

